

令和 4 年度 認知症施策について

認知症地域支援推進員の活動

■ 認知症地域支援推進員の活動

～すこやか長寿プラン2年目！ 考えてきたことを”カタチ”にする！～

● 目標と具体的活動

	目標	具体的活動
①	地域で支える体制づくり	認知症当事者の居場所づくりの検討
②	若年性認知症の人への支援	認知症の人への支援体制構築に向けた関係機関との連携会議の開催
③	認知症に関する正しい知識の普及・啓発	認知症の啓発

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
居場所	あしやの会企画		準備	◎7/29		◎9/30		◎11/25		◎1/27		◎3/31
	拠点づくり企画		【山手】イベント準備				10月-11月					
			【南】場所開拓		【南】イベント準備		【南】イベント開催					
支援体制構築	ネットワー企画		準備		科子研究 カフェ見学	アンケート	3回企画			まとめ	印刷	配布
	インタビュー企画		準備				実施 1/圏域					
	事例検討準備			7/13 東山手		9/XX 猪道		11/XX 西山手		1/XX 瀬見		
啓発	コンテスト企画・準備		募集			発表						
	講座企画		準備									3/XX

① 認知症当事者の居場所づくりの検討

【背景】

認知症の人やその家族が気軽に集える居場所が、市内に少ない。

【活動】

- あしやの会(当事者の会)
- 拠点づくり(認知症の人が1回行ってみようかなと思える場所)

<場所>

山手(北)・・・フラットで開催されているさくらカフェ

2号線以南(南)・・・木口記念館 1階多目的ホールなど

【体制】

- 北・・・西山手×東山手
- 南・・・精道×潮見



【イベント企画】

- 拠点周知啓発のため、イベントを実施する。

<内容(例)>

相談会を開催(医療・社労士・臨床心理士など)、講義など

【目指す姿】

- ・拠点カフェイベントを定期開催(令和4年度)
- ・圏域毎(山手・精道・潮見)に自立した居場所が立ち上がる。

【現状】

- 北・・・フラット開催について許可取り。イベントについて企画中。
- 南・・・開催場所について検討している。イベント企画は北を参考にすすめる。

【現在の問題点】

南の拠点場所をどこにするか。

② 認知症の人への支援体制構築に向けた関係機関との連携会議の開催

【背景】

若年性認知症の人への支援が多方面にわたるためスムーズにいかない。医療機関にどれほどの若年性認知症の人が受診しているのか把握できていない。

【活動】

- 若年性認知症支援ネットワークの継続
⇒若年性に特化した居場所、読み物作成
拠点づくり(認知症の人が1回行ってみようかなと思える場所)について議題をあげ、検討するとともに各支援機関との連携を強化する。
- 医療機関インタビュー 圏域毎に1つの医療機関※包括とコラボ
- 兵庫医大(認知症疾患医療センター)と事例検討 年4回

【体制】

- 西山手, 精道, 潮見



【目指す姿】

- 若年性認知症当事者の会が立ち上がる。
- ほっとナビ若年性認知症版の作成
- サポーター養成講座ステップアップ受講者へのアプローチ, ボランティアセンターとの連携
- 支援する仕組み, 協力者を招集する仕組みを作る
- 医療連携により若年性認知症の人を一人でも多くキャッチできる関係性構築

【現状】

- ネットワークについては準備中。
- 医療機関インタビューも準備中。
- 事例検討会第1回開催。

【現在の問題点】

どんな読み物を作る？

③認知症の啓発

【背景】

認知症の理解を深め、当事者が住みやすい地域づくりを展開する必要がある。

【活動】

- アルツハイマーデーイベント
令和4年7月～9月初旬
- ステップアップ講座開催
年1回

【体制】

- 東山手，潮見



【目指す姿】

- ポスターコンテストの定着。小中学生が認知症を理解している。
- ステップアップ講座受講者がボランティアに参加
- 認サポ事務局と協働

【現状】

- ポスターコンテストの啓発中。期間中にキッズスクエアで認サポを実施し、少しでも多くの小学生に認知症に触れてもらう。
- ステップアップ講座準備中。